

軍旅に出てほととぎすの鳴く声を楽しみました ナレーション

旅館に鴉を聴く 武田信玄作 リード

空山の緑樹 雨晴るるの辰

全員歌唱

空山緑樹雨晴辰

残月の杜鵑 夢に呼ぶこと頻なり

残月杜鵑呼夢頻
旅館一声帰思切
天涯瞻恋蜀城春

旅館の一声 帰思切にして

天涯に瞻恋す 蜀城の春

静かな山々の新緑を濡らし、夜来の雨も晴れるとき、残月に啼くほととぎすの聲に、曉の夢を破られること頻りである。軍旅の仮寝の宿に、この一声を聴くとき、まさに帰思の切なるものがある。天涯遠く仰ぎ恋しむ、鷹岡ヶ崎の館の春よ。ふるさとを恋する姿です。鷹岡ヶ崎の字に蜀の字が入っていることがお判りになるでしょう。現在は甲府市武田神社になっています。

ご静聴ありがとうございました